東成区の昭和 やぶにらみ日記

絵と文 柳たかを

「お嫁さん」

毎年、8 月のお盆には今里交差点近くにある路地長屋を訪れる。ここは僕の生まれ育った故郷だ。今里交差点はかつては今里ロータリーと呼ばれていた。今里交差点には南北の道路と東西の道路、さらに北西方向の玉造方面からの道路と、5 つの道路が集まってくる。

● 近所の人のため息と拍手に見送られ嫁いでいく花嫁

僕の子供の頃には、難波方面へは路面電車も走っており始発駅の今里駅には今里車庫といって路面電車の基地があった。

今里ロータリーの名のわけは、交差点の中心には雑草の生えている土盛りの安全地帯があり、5 つの方向からやって来た自動車やトラックは、安全地帯の周りを回る車群の流れに同調して回り、行きたい道路が近づくとそちらにわかれて進んで行った。行き交う自動車の量も今ほど多くはなかった。交差点の北東角に現在も残る銀行横の路地を北に曲がり、すぐ東に伸びる路地が我が懐かしの思い出ワールドだ。

東方向の T 字路まで、向かい合って長屋が約 100 メートル続く。路地の道幅は狭く約 3 メートル前後だが、小学生の僕には広々としていた感覚が残っている。

道がまだ土道だったので運動靴のかかとで地面に穴を掘り、男の子数人でラムネ (ビー玉) 遊びも出来た。夏、男の子は汗と土ぼこりでシミだらけのランニングシャツにずり落ちそうな半ズボン、かごめかごめなどで遊んだ女の子も短く刈り上げたおかっぱ頭で男の子以上に元気いっぱいだった。斜め向かいに白いスピッツ犬を飼うお宅があり、お姉さんと弟がいて、ヒョロリと背の高い弟の S ちゃんは僕より 3 ～ 4 歳年上だった。ある日、家の前で S ちゃんが組み立てたゴム動力で飛ぶ模型飛行機を飛ばすところを見せてもらった。玄関で模型飛行機を囲んで 3 ～ 4 人で興奮気味に話し込んでいると、犬の散歩からお姉さんが帰ってきた。お姉さんもスラリと長身の人だった記憶がある。みな貧乏だったから玩具を買ってもらえたり、当時人気のあったスピッツ犬がいる S ちゃんちが眩しかった。

それから数年後のこと、我が路地を大人が埋め尽くし、その隙間から子供達がのぞきこむ出来事があった。「お嫁さんが嫁ぐ」という、お嫁さんは S ちゃんのお姉さん。

狭い路地に大きなトラックが来て S ちゃんちの前に止まり、荷台に積まれた布団や箪笥に紅白の布や飾り紐がかけられている。近所の見知ったおばちゃんやおばあちゃん達が、子供の目にもいつになく興奮しているのがわかる。時間が来て S ちゃんちから日本髪を覆う白い角かくしのお嫁さんがうつむき加減で現れた。路地に悲鳴のような歓声が上がり、一斉に拍手が起きた。

路地でふだん顔を合わせる見知った大人たちが、ありえないほど感動し興奮するのを見て、僕は鳥肌が立った。

いま路地に立ってみると、この小さな空間で経験したドラマが本当にあったことと信じていいのか心の中で問いかける自分がいる。

やぶにらみ日記

東成区の昭和

(334) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の昭和

(335) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の沿和

(336) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の沿和

(337) お嫁さん

やくざにらみ日記

東成区の昭和

(338) お嫁さん

やくざにらみ日記

東成区の昭和

(339) お嫁さん

やばにらみ日記

東成区の昭和

(340) お嫁さん

やばにらみ日記

東成区の昭和

(341) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の昭和

(342) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の昭和

(343) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の沿和

(344) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の沿和

(345) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の昭和

(346) お嫁さん

やぶにらみ日記

東成区の昭和

(347) お嫁さん